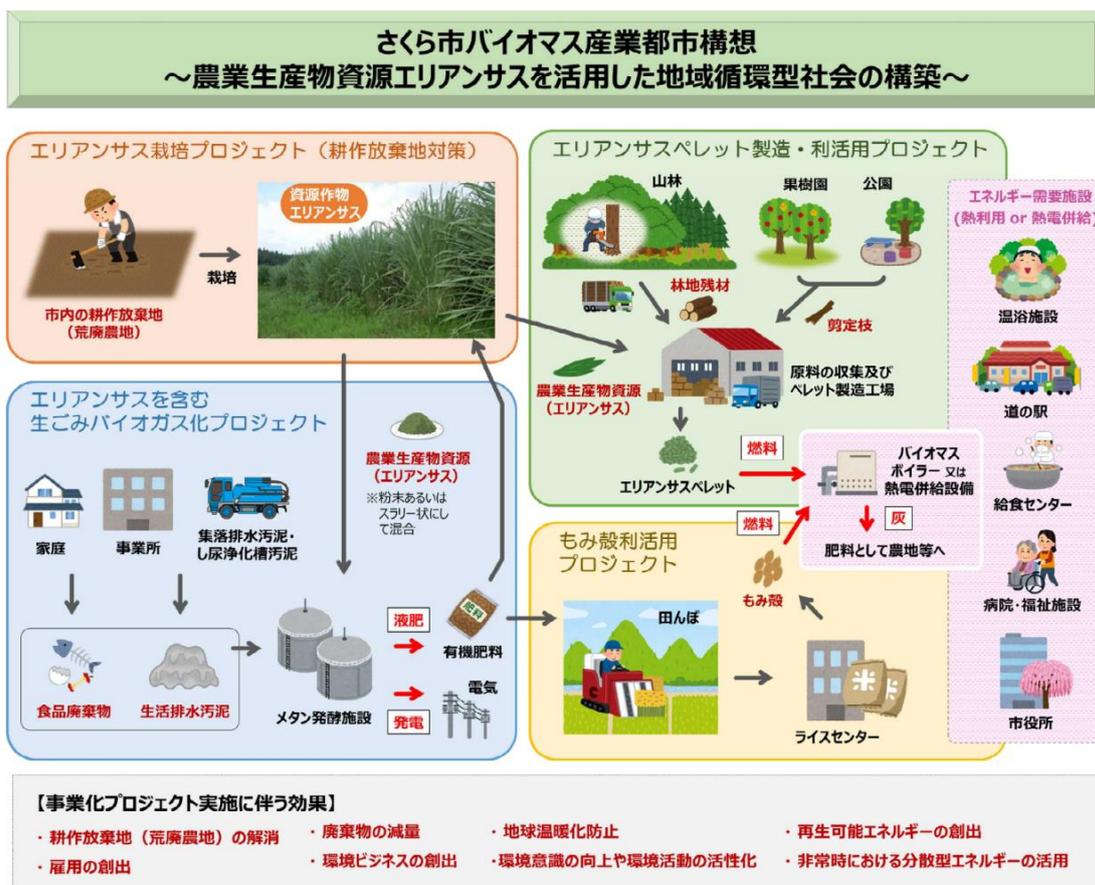


栃木県さくら市

住所	〒329-1392 栃木県さくら市氏家2771
市長	中村 卓資
HP	http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/
バイオマス産業都市選定年度	2019年度
バイオマス産業都市構想	http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/uploaded/attachment/22444.pdf
担当部署	産業経済部農政課
連絡先 TEL	028-681-1117
連絡先 FAX	028-681-1483
連絡先 E-mail	nousei@city.tochigi-sakura.lg.jp



I 事業化プロジェクト

表 1 プロジェクト一覧表

項目	名称	現状
プロジェクト 1	エリアンサス栽培プロジェクト	実施中
プロジェクト 2	エリアンサスペレット製造利活用プロジェクト	実施中
プロジェクト 3	もみ殻利活用プロジェクト	検討中
プロジェクト 4	エリアンサスを含むバイオガス化プロジェクト	検討中

プロジェクト No.1	エリアンサス栽培プロジェクト		
実施主体	さくら市、民間事業者（株）タカノ		
HP	(株)タカノ https://takano-corporation.co.jp/		
利用する技術	☑資源作物栽培		
	その他（栽培管理・育種）	(株)タカノ	
概要	市内の耕作放棄地に新たな資源作物としてエリアンサスを栽培し、耕作放棄地の解消をおこなう。		
内容	資源作物	エリアンサス	
	収量(t/年)	計画値	実績値（2023年度）
		1,433	200
事業の進捗状況			
耕作放棄地におけるエリアンサスの栽培面積を増やし、耕作放棄地の解消を行う。 現在、耕作放棄地 8ha を利用しエリアンサス栽培をおこなっている。			
停滞要因と事業運営上の課題			
<p>・停滞要因 新たなエリアンサスペレットの供給先が見つからず、エリアンサスの栽培面積の拡大が進んでいない。</p>			
<p>・課題 エリアンサスペレットの供給先の創出とペレット化とは別のエリアンサスの用途の模索</p>			



エリアンサス（さくら市内の耕作放棄地で栽培）

プロジェクト No.2	エリアンサスペレット製造利活用プロジェクト		
実施主体	さくら市、民間事業者（株タカノ）		
HP	株タカノ https://takano-corporation.co.jp/		
利用する技術	☑熱利用 ☑木質チップ・ペレット製造		
概要	耕作放棄地で栽培したエリアンサスを原料としたエリアンサスペレットを製造し、以内エネルギー需要の大きな施設でのバイオマス燃料として利用を行う。		
内容	燃料	エリアンサスペレット	
	利用量(t/年)	計画値	2023年度実績値
		1,891	210
事業の進捗状況			
現在製造しているエリアンサスペレットについては、全量を市営の温泉施設で利用をおこなっている。			
停滞要因と事業運営上の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・停滞要因 新たなエリアンサスペレットの供給先が見つからず、エリアンサスの栽培面積の拡大が進んでいない。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・課題 エリアンサスペレットの供給先の創出 			



エリアンサスペレット製造施設



エリアンサスペレット フィーダー
市内温浴施設「もと湯」

プロジェクト No.3	もみ殻利活用プロジェクト	
実施主体	さくら市、民間事業者	
利用する技術	☑熱利用 (もみ殻燃焼)	
概要	市内のライスセンターから発生するもみ殻を原料とし、バイオマスボイラーや熱電供給設備の燃料化をおこなう。	
内容	燃料	もみ殻
	利用量(t/年)	4,342
事業の進捗状況		
もみ殻の利用方法について、先進都市の取組事例やメーカー等からの情報収集を行っている。		
停滞要因と事業運営上の課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・停滞要因 市内における、カントリーエレベーター・ライスセンターにおいては、近隣農家によるもみ殻利用により、利用率が 100%となっている。		
<ul style="list-style-type: none"> ・課題 利用できるもみ殻の資源量の検討ともみ殻の利用方法の検討		

プロジェクト No.4	エリアンサスを含む生ごみバイオガス化プロジェクト	
実施主体	さくら市民間事業者	
利用する技術	☑メタン発酵バイオガス発電	
概要	食品廃棄物や集落排水汚泥を原料として、メタン発酵によるガス発電を行い、消化液は堆肥化を行う。 また、エリアンサスを粉末あるいはスラリー状にし、混合することも検討する。	
内容	項目	計画
	原料：生活排水汚泥 利用量(t/年)	8,765
	原料：食品廃棄物 利用量(t/年)	7,624
事業の進捗状況 メタン発酵について、メーカーや関係機関から情報収集を行っている。		

II 脱炭素化の取組状況や取組方針

II-1 地域における脱炭素に関する計画

計画名称等	策定年度 (選定年度)
重点対策加速化事業 (地域脱炭素移行・再エネ推進交付金)	2023年度 https://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/government/000054/000313/p003813.html
ゼロカーボンシティ宣言	2023年度 https://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/government/000054/000313/p003814.html